

# 目次

口 絵

序

凡 例

細 目 次

第一章 愛知県の工業概況…………… 一

一 一八七八年（明治十一）愛知県工業概況…………… 一

二 一八八六年（明治十九）愛知県工業概況…………… 二八

三 一九〇九年（明治四十二）愛知県工業概況…………… 三五

四 一九一七年（大正六）愛知県工業概況…………… 三七

五 一九三四年（昭和九）愛知県工業概況…………… 五二

第二章 綿紡績業…………… 七三

第一節 官営愛知紡績所	七三
一 官営愛知紡績所の設置	七三
二 官営愛知紡績所の払下げ	八五
三 払下げ後の愛知紡績所	九三
第二節 機械紡績業の展開	九八
一 名古屋紡績の開業と展開	九八
二 尾張紡績の設立と展開	一一一
三 三重紡績愛知分工場の設置と兼営織布の展開	一二五
四 津島紡績・一宮紡績・知多紡績の設立	一三八
(1) 津島紡績	一三八
(2) 一宮紡績	一四六
(3) 知多紡績	一四七
五 尾勢紡績合同の進展	一五〇
第三節 第一次大戦期以降の新動向	一七三
一 地元資本による新規開業と紡織兼営の展開	一七三

(1) 服部商店	一七三
(2) 名古屋紡績	一七八
二 第一次大戦後の県外大資本の進出 日清紡の場合	一八八
(1) 岡崎紡績の買収による日清紡岡崎工場の開設	一八八
(2) 日清紡名古屋工場の設置	一九五
三 第一次大戦後の愛知県における綿糸紡績工場	二〇一
第四節 ガラ紡	二〇四
一 ガラ紡に関する各種調査	二〇四
二 ガラ紡機の改良・普及と共進会	二四三
三 額田紡績組・三河紡績組合・三河紡績同業組合	二五一
第三章 織物業	二六七
第一節 尾西・尾北	二六七
一 明治前期における縞木綿生産の展開	二六七
二 絹綿交織物への転換とマニユファクチュアの展開	二七〇

三	毛織物への転換と工場制への移行	二八九
四	毛織物生産での全国制覇	二九八
五	尾北の織物業	三二四
第二節 知多		
一	白木綿生産の展開と問屋制家内工業	三三五
二	産地の力織機化と問屋制支配の再編 日清・日露戦争期	三四四
(1)	力織機化の試みと同業組合の組織化	三四四
(2)	力織機化の急展開と販路の拡大	三五六
三	産地織物の広幅化と大規模工場の出現 第一次大戦期	三六二
四	昭和恐慌以降の織物生産の拡大と組合統制	三七二
第三節 西三河		
一	三河木綿とその沿革	三八八
二	織物同業組合の設立	三九四
三	出機の減少と力織機の導入	四〇一
四	大正・昭和初期の三河木綿	四二二

第四節 東三河……………四二〇

一 三河織物同業組合の設立と展開……………四二〇

二 戦間期の三河織物と不況への対応……………四二六

(1) 三河織物同業組合の業務成績……………四二六

(2) 部会の設置……………四三一

(3) 不況への対応……………四三五

三 昭和恐慌期の三河織物……………四四二

(1) 三河綿布(織物)工業組合の設立……………四四二

(2) 昭和恐慌への対応……………四五〇

第四章 製糸業……………四六一

第一節 明治前半期の製糸業……………四六一

一 生糸改会社の設立……………四六一

二 県製糸場設置と湯地恒雄……………四六六

三 尾北と東三の製糸業……………四七〇

第二節 日清戦後の製糸業	四七五
一 県内製糸業の概況	四七五
二 地元製糸の展開	四八四
三 県外製糸の進出	四九〇
第三節 日露戦後期から第一次大戦期の製糸業	五〇〇
一 県内製糸業の概況	五〇〇
二 優良繭の購入と安楽育	五一〇
三 遠玉糸製造同業組合	五一八
第四節 第一次大戦後の製糸業	五二三
一 繭特約取引の展開	五二三
二 地元製糸会社の再編	五三二
三 玉糸業の発達	五三九
第五節 昭和恐慌後の製糸業	五四八
一 恐慌の打撃と組合製糸	五四八
二 片倉愛知製糸所の状況	五五二

三	豊橋地方の製糸業	五五七
	第五章 繊維工業の女性労働者	五六一
	第一節 募集取締規則と県下の概況	五六一
一	明治期の状況	五六一
二	大正・昭和期の状況	五六四
	第二節 愛知県への出稼女性労働者	五八八
一	岐阜県	五八八
二	静岡県	五九二
三	富山県	五九四
四	新潟県	五九七
五	鹿児島県	六〇〇
六	沖縄県	六〇一
七	朝鮮	六〇二
	第六章 繊維機械工業	六〇七

第一節	明治期の織機開発と企業化……………	六〇七
一	織機開発と井桁商会・三井物産……………	六〇七
(1)	豊田佐吉の織機開発……………	六〇七
(2)	豊田佐吉と井桁商会・三井物産……………	六一四
二	豊田式織機株式会社の設立と愛知県織機業界……………	六一九
(1)	豊田式織機の設立と三井物産……………	六一九
(2)	愛知県織機業界……………	六二九
第二節	第一次大戦期の新規参入と紡績機生産の始動……………	六三二
一	新規参入と新設企業の始動……………	六三二
(1)	大隈鉄工所の参入……………	六三二
(2)	野上機械工業株式会社の参入……………	六三三
二	自動織機の製作と紡績機生産の始動……………	六三八
(1)	豊田式織機製作事業の拡大と下請……………	六三八
(2)	豊田式織機の紡績機生産……………	六四四
第三節	戦間期における紡績機生産……………	六四七



一	紡織機の生産・市場概況	六四七
二	豊田式織機株式会社の発展	六五〇
三	豊田自動織機製作所の設立と進展	六七四
第四節	内外紡織機メーカーと三井物産 協調と競争	六八二
一	豊田式織機・豊田自動織機製作所と三井物産	六八二
二	豊田のプラット社への特許権譲渡	六九四
三	両豊田・三井物産の紡織機販売協議会	六九八
第七章	窯業	七三一
第一節	名古屋・瀬戸	七三一
一	明治前期・中期の概要	七三一
二	名古屋と瀬戸の分業体制の確立	七四〇
三	中小商工業者の集積と輸出	七四四
四	労働者の状態	七五九
五	同業者組織と試験所	七六五
六	近代的企業の設立と発展	七七七

(1)	日本陶器	七七七
(2)	日本磚子	七八八
第二節	常滑	七九九
一	明治前期の概況	七九九
二	生産と流通	八一二
三	労働者の状態	八二三
四	同業者組織の事業	八二六
五	近代的企業の設立	八三八
第三節	高浜	八四三
一	生産と流通	八四三
二	販路の拡大と同業組合	八五二
第八章	食品工業	八五七
第一節	酒造業	八五七
一	酒造業統制の再編	八五七

二	酒造税増徴をめぐる動向	八六七
三	明治初年の酒造業 足助地域の事例	八八一
四	知多郡酒造業の展開	八八九
(1)	沿革と動向	八八九
(2)	豊醸組の設立と活動	九〇一
(3)	生産状況	九一九
五	碧南の味淋醸造業	九二八
第二節	その他の食品工業	九三五
一	酢	九三五
二	葡萄酒醸造の試み	九五一
三	トマトソース・ケチャップ	九六四
解説		九七七
あとがき		
資料提供者及び協力者		
愛知県史編さん関係者名簿		

# 細目次

## 第一章 愛知県の工業概況

一 一八七八年(明治十二)愛知県工業概況	
1 名古屋区特有物産表(抄)	1
2 愛知郡特有物産表(抄)	4
3 春日井郡特有物産表(抄)	6
4 丹羽郡特有物産表(抄)	7
5 葉栗郡特有物産表(抄)	10
6 中島郡特有物産表(抄)	11
7 海東郡特有物産表(抄)	13
8 海西郡特有物産表(抄)	14
9 知多郡特有物産表(抄)	15
10 碧海郡特有物産表(抄)	17
11 幡豆郡特有物産表(抄)	18

12 額田郡特有物産表(抄)	19
13 西加茂郡特有物産表(抄)	20
14 東加茂郡特有物産表(抄)	22
15 北設楽郡特有物産表(抄)	23
16 南設楽郡特有物産表(抄)	24
17 宝飯郡特有物産表(抄)	24
18 渥美郡特有物産表(抄)	25
19 八名郡特有物産表(抄)	26
20 工業諸会社及諸製造所表	28
21 愛知県工業年報	32
22 (明治四十二年)愛知県産業概況(抄)	35

四 一九一七年(大正六)愛知県工業概況

23 (大正六年)『愛知県産業案内』(抄)……………37

一九一九年(大正八)三月……………

五 一九三四年(昭和九)愛知県工業概況

24 (昭和九年)『愛知県商工要覧』(抄)……………52

一九三六年(昭和十一)七月……………

## 第二章 綿紡績業

### 第一節 官営愛知紡績所

一 官営愛知紡績所の設置

25 綿系紡績所建設及器械ヲ購求ス……………73

一八七八年(明治十一)四月十三日……………

26 愛知県下三河国大平村ニ綿系紡績器械場設立地ヲ定ム……………82

一八七九年(明治十二)三月二十七日……………

27 愛知県下三州大平村綿系紡績所器械所等建築……………83

一八七九年(明治十二)八月五日……………

二 官営愛知紡績所の払下げ

28 愛知紡績所御払下願……………85

一八八六年(明治十九)七月十四日……………

29 愛知紡績所処分ノ件……………91

一八八六年(明治十九)九月六日……………

30 愛知紡績所払下結了之件……………92

一八八六年(明治十九)十二月十六日……………

三 払下げ後の愛知紡績所

31 愛知紡績所職工調査表……………93

一八九四年(明治二十七)四月三十日……………

32 愛知紡績所の火災……………97

一八九六年(明治二十九)十一月……………

33 会員退会……………97

一八九七年(明治三十)二月……………

### 第二節 機械紡績業の展開

一 名古屋紡績の開業と展開

34 綿系紡績機械代金年賦上納之義歎願……………98

一八八二年(明治十五)二月十八日……………

35 紡績機械代金年賦上納願之義二付副申……………100

一八八二年(明治十五)二月二十日……………

36 紡績器械代金年賦上納之義二付上申……………101

一八八三年(明治十六)七月二十日……………

37 第四回半季實際考課状(抄)……………102

一八八八年(明治二十)七月十日……………

38 登記済報告書……………105

一八九四年(明治二十七)一月八日……………

39 名古屋紡績株式会社職工調査表……………106

一八九四年(明治二十七)四月三十日……………

二 尾張紡績の設立と展開

40 明治二十二年前半季実績報告(抄)……………111

一八八九年(明治二十二)七月……………

41 第壹回半季考課状(抄)……………114

一八九〇年(明治二十三)二月二十一日……………

42 (聯合紡績)臨時約束書……………115

一八九〇年(明治二十三)六月十八日……………

43	臨時約束書之解除(抄)	118
	一八九〇年(明治二十三)七月九日	
44	尾張紡績株式会社職工調査表	119
	一八九四年(明治二十七)四月三十日	
	三 三重紡績愛知分工場の設置と兼営織布の展開	
45	臨時株主總會決議錄	125
	一八九三年(明治二十六)二月五日	
46	第拾四回營業實際考課狀(抄)	127
	一八九三年(明治二十六)七月十六日	
47	第拾五回事業報告書(抄)	128
	一八九四年(明治二十七)一月十日	
48	三重紡績株式会社臨時株主總會要件錄(抄)	129
	一八九四年(明治二十七)四月十四日	
49	第式拾回事業報告書(抄)	133
	一八九六年(明治二十九)七月十日	
50	第式拾壹回事業報告書(抄)	135
	一八九七年(明治三十)二月十日	
	四 津島紡績・一宮紡績・知多紡績の設立	
	(1) 津島紡績	
51	津島紡績株式会社目論見書	138
	一八九三年(明治二十六)八月二十五日	
52	(第壹回) 報告書(抄)	140
	一八九四年(明治二十七)十二月三十一日	
53	(第二回) 報告書(抄)	143
	一八九五年(明治二十八)七月	
54	第八回明治三十一年上半季營業報告書(抄)	144
	一八九八年(明治三十)六月三十日	

55	登記済報告書	146
	一八九六年(明治二十九)六月三十日	
	(2) 一宮紡績	
	(3) 知多紡績	
56	第一回報告(抄)	147
	一八九七年(明治三十)七月	
	五 尾勢紡績合同の進展	
57	農相の紡績合同勸誘	150
	一九〇五年(明治三十八)一月	
58	尾勢紡績の合同協議	151
	一九〇五年(明治三十八)四月	
59	尾勢地方紡績合同問題	152
	一九〇五年(明治三十八)五月	
60	尾勢紡績合同の進展	152
	一九〇五年(明治三十八)六月	
61	(三重紡績株式会社臨時株主總會) 議案	153
	一九〇五年(明治三十八)六月二十三日	
62	(尾張紡績株式会社) 明治三十八年上半期報告(抄)	154
	一九〇五年(明治三十八)七月二十一日	
63	(名古屋紡績株式会社) 第三十八回明治卅八年上半期報告(抄)	156
	一九〇五年(明治三十八)七月二十一日	
64	(三重紡績株式会社) 第三拾九回營業報告書(抄)	160
	一九〇六年(明治三十九)一月四日	
65	(津島紡績株式会社) 第式拾四回明治三十九年上半期營業報告書(抄)	162
	一九〇六年(明治三十九)六月三十日	

66	〔三重紡績株式会社〕 第四拾壹回營業報告書（抄） 一九〇七年（明治四十）一月五日……………	166
67	〔三重紡績株式会社〕 臨時株主總會決議錄（抄） 一九〇七年（明治四十）五月二十九日……………	168
68	〔一宮紡績株式会社〕 第貳拾參回營業報告書（抄） 一九〇七年（明治四十）七月……………	171
69	〔日本紡績株式会社〕 第貳拾四回自明治四十年七月 一日至同年十一月三十日報告（抄） 一九〇七年（明治四十）十一月三十日……………	172
<b>第三節 第一次大戦期以降の新動向</b>		
一 地元資本による新規開業と紡織兼営の展開		
(1) 服部商店		
70	第壹期營業報告（抄） 一九二三年大正二（二）月二十八日……………	173
71	第七期營業報告（抄） 一九一六年大正五（三）月三十日……………	174
72	第貳拾期營業報告書（抄） 一九二二年大正十一（九）月三十日……………	175
73	第貳拾壹期營業報告書（抄） 一九二三年大正十二（三）月二十九日……………	176
(2) 名古屋紡績		
74	第一期營業報告（抄） 一九一八年大正七（十二）月……………	178
75	第四期營業報告（抄） 一九一九年大正八（十二）月……………	181

76	第五期營業報告（抄） 一九二〇年大正九（六）月……………	183
77	第拾四期營業報告（抄） 一九二四年大正十三（十二）月……………	186
二 第一次大戦後の県外大資本の進出 日清紡の場合		
(1) 岡崎紡績の買収による日清紡岡崎工場の開設		
78	〔岡崎紡績株式会社〕 第壹期營業報告（抄） 一九一九年大正八（十二）月……………	188
79	〔岡崎紡績株式会社〕 第參期營業報告（抄） 一九二〇年大正九（十一）月……………	190
80	〔日清紡績株式会社〕 臨時株主總會決議書 一九二〇年大正九（十二）月一日……………	190
81	日清紡績株式会社第貳拾九回報告書（抄） 一九二一年大正十（六）月……………	193
82	〔日清紡績株式会社〕 第貳百壹回重役會議事録（抄） 一九二三年大正十二（三）月五日……………	194
(2) 日清紡名古屋工場の設置		
83	第百六拾參回重役會議事録（抄） 一九二〇年大正九（一）月六日……………	195
84	日清紡績株式会社第拾回報告書（抄） 一九二一年大正十（十二）月……………	196
85	日清紡績株式会社第拾壹回報告書（抄） 一九二二年大正十一（六）月……………	198
86	日清紡績株式会社第拾參回報告書（抄） 一九二三年大正十二（六）月……………	199

三 第一次大戦後の愛知県における綿系紡績工場

87 中部日本に於ける綿糸紡績工場と營業概況  
一九二六年(大正十五)三月……………201

#### 第四節 ガラ紡

##### 一 ガラ紡に関する各種調査

88 深田俊助「三河木綿及び水車紡績系調査」(抄)  
一九二二年(明治四十五)……………204

89 臨時産業調査局「三河水車紡績業に関する調査」(抄)  
一九一九年(大正八)三月……………213

90 平坂第一尋常小学校郷土地理研究部「中畑の紡織業」  
(抄)  
一九三七年(昭和十二)一月……………229

##### 二 ガラ紡機の改良・普及と共進会

91 和製紡績器械採り綿糸共進会開設願  
一八八一年(明治十四)九月三日……………243

92 繭糸織物陶漆器共進会第貳区式類綿糸審査報告(抄)  
一八八五年(明治十八)八月……………245

93 洋式紡糸ト臥雲紡糸ト相異ナル所以ノモノヲ論ス  
一八八五年(明治十八)六月十一日……………247

94 特別審査願  
一八八八年(明治二十)十一月一日……………248

95 「改良綿糸紡績機械製造販売規則」  
一八八九年(明治二十)十月十八日……………250

三 額田紡績組・三河紡績組合・三河紡績同業組合  
三河国額田郡綿糸製造者組合規約  
一八八四年(明治十七)七月……………251

97 甲村滝三郎職工調査表  
一八九四年(明治二十)四月三十日……………254

98 職工取締組合規約書(抄)  
一九一一年(明治四十四)……………255

99 同盟組合規約  
一九一三年(大正二)七月……………259

100 「綿糸業組合」説諭願  
一九一四年(大正三)七月……………260

101 「工賃統一のため綿糸商との交渉の件」(抄)  
一九一五年(大正四)十二月十五日……………262

102 大正八年度三河紡績同業組合業務成績(抄)  
一九二〇年(大正九)六月八日……………262

### 第三章 織物業

#### 第一節 尾西・尾北

##### 一 明治前期における縞木綿生産の展開

103 「明治十八年」愛知中島郡織物業  
一八八五年(明治十八)七月……………267

104 「明治十九年下半年・同二十年上半年」洋綴糸  
名古屋区商況  
一八八七年(明治二十)三月・十月……………268

二 絹綿交織物への転換とマニユファクチュアの展開  
105 「中島郡」縞木綿  
一八九六年(明治二十)七月……………270

106 「奥町有力織物生産者・問屋業者一覽」  
一八九五年(明治二十)十一月一日……………273



107	(起機業組合の活動)	189八年(明治三十一)十一月	277
108	尾西織物同業組合誌(抄)	一九一〇年(明治四十三)六月	284
	三 毛織物への転換と工場制への移行		
109	片岡孫三郎(功勞調書)	一九一〇年(明治四十三)	289
110	(平吉式)二巾力織機購入)	一九一七年(大正六)六月二十八日	289
111	(平吉式鉄製広巾力織機)注文請書	一九一七年(大正六)八月十七日	290
112	(ジョージ・ハッターズレー力織機・ジョージ・ホジソン力織機購入価格見積書)	一九一六年(大正五)十二月十九日	291
113	(ジョージ・ホジソン力織機神戸到着通知)	一九一八年(大正七)三月三十日	292
114	(ドイツハートマン製紡毛機購入)	一九二〇年(大正九)三月三十日	293
115	組合員数並二織機台数労働者数原動力調査表	一九二五年(大正十四)十二月三十一日	295
	四 毛織物生産での全国制覇		
116	(尾西) 機業地ノ現況(抄)	一九二二年(大正十一)五月十三日	298
117	尾西織物の起源沿革並に現勢(抄)	一九二七年(昭和二)五月	302
118	毛糸関税引上(問題)	一九二七年(昭和二)十一月	307

119	愛知県四幅毛織物研究会要覽	一九二八年(昭和三)十二月	310
120	尾西に於ける毛織物工業(抄)	一九三六年(昭和十一)十月	313
	五 尾北の織物業		
121	丹葉織物同業組合視察報告(抄)	一九二八年(昭和三)四月一日	324
122	尾州織物同業組合沿革の梗概	一九二八年(昭和三)九月	327
123	織機種別調・動力工場調	一九二八年(昭和三)九月	330
124	昭和四年度尾州織物同業組合業務成績(抄)	一九三〇年(昭和五)八月二十五日	331
125	(尾州織物工業組合設立認可)公示	一九三二年(昭和七)十月二十日	333
	第二節 知多		
	一 白木綿生産の展開と問屋制家内工業		
126	竹之内源助「知多白木綿沿革」(抄)(明治前期)	一九一一年(明治四十四)八月	335
127	知多郡木綿商業組合規則	一八八〇年(明治十三)九月二十五日	336
128	知多郡織物産額表・織戸織機織工表	一八九六年(明治二十九)三月	343
	二 産地の力織機化と問屋制支配の再編 日清・日露戦争期		
	(1) 力織機化の試みと同業組合の組織化		

129	竹之内源助「知多白木綿沿革」(抄)(明治後期) 一九一一年(明治四十四)八月	344	143	知多晒木綿商況 一九〇七年(明治四十)二月二十三日	358
130	〔石川藤八織工場製品への一手販売銘付与〕 一九〇〇年(明治三十三年)十月十六日・十九日	345	144	岩井晒商況 一九〇七年(明治四十)八月二十四日	358
131	知多郡白木綿同業組合設置認可申請書 一九〇一年(明治三十四)一月十三日	345	145	知多晒木綿商況 一九〇九年(明治四十二)十二月二十五日	359
132	〔知多郡白木綿同業組合設置認可指令〕 一九〇一年(明治三十四)七月五日	347	146	岩井晒商況(抄) 一九一一年(明治四十四)十二月二十五日	360
133	〔岡田木綿織立業組合〕織賃 一九〇一年(明治三十四)十一月二十五日	347	147	三 産地織物の広幅化と大規模工場の出現 第一次大戦期 大正年代(の動向) 一九三四年(昭和九)	362
134	〔竹之内内商店歳暮〕進上配達目録 一九〇一年(明治三十四)十二月十四日	348	148	知多織物業と其近況(抄) 一九二二年(大正十一)五月十三日	363
135	知多郡白木綿同業組合第一区織賃 一九〇二年(明治三十五年)一月二日	349	149	〔中七木綿株式会社〕第六回營業報告書(抄) 一九二四年(大正十三)十二月三十一日	365
136	三十五年度ニ於ケル知多晒木綿趨勢一斑 一九〇二年(明治三十五年)十二月十三日	349	150	〔岡田町白木綿生産の現況〕 一九二五年(大正十四)	366
137	前途吾等〔竹之内商店〕の探るべき方針 一九〇四年(明治三十七)九月二十日	352	151	知多白木綿近況 一九二六年(大正十五)八月	367
138	竹之内源助(功勞)調査書 一九一〇年(明治四十三)	353	152	知多晒検査規則 一九二六年(大正十五)八月	367
139	石川藤八(功勞)調査書 一九一〇年(明治四十三)	354	153	知多晒検査二関スル契約書 一九二七年(昭和二)四月二十三日	369
140	知多晒の一大改良実施 一九〇六年(明治三十九)三月	355	154	〔中七木綿株式会社〕第拾壹回營業報告書(抄) 一九二九年(昭和四)十二月三十一日	371
141	(2) 力織機化の急展開と販路の拡大 半田地方ニ於ケル白木綿(抄) 一九一四年(大正三)四月	356	155	四 昭和恐慌以降の織物生産の拡大と組合統制 昭和年代(の動向) 一九三四年(昭和九)	372
142	常磐晒商況 一九〇六年(明治三十九)八月二十五日	357			

156	〔中七木綿株式会社〕第拾二回營業報告書(抄) 一九三〇年(昭和五)十二月三十一日	373
157	本銘知多晒統制會定款 一九三二年(昭和七)七月	374
158	本銘知多晒生產配當規定 一九三二年(昭和七)七月	377
159	力織機(大巾三十台小巾六十台)以上ヲ有スル工場名 及所在(抄) 一九三二年(昭和七)十二月三十一日	378
160	〔中七木綿株式会社〕第拾五回營業報告書(抄) 一九三三年(昭和八)十二月二十五日	379
161	〔昭和八年上半期の白木綿の状況〕 一九三三年(昭和八)	381
162	〔知多郡白木綿同業組合・知多綿布工業組合〕問屋其 他業者 一九三五年(昭和十)一月一日	382
163	綿布統制操短 一九三五年(昭和十)七月	384
164	岡田町木綿業発達沿革(抄) 一九三六年(昭和十)	384
165	知多綿布工業組合・知多郡白木綿同業組合経歴の概要 一九三七年(昭和十)	385
166	最近十年間各問屋晒發送数累計表 一九三八年(昭和十)	386

### 第三節 西三河

167	一 三河木綿とその沿革 深田俊助「三河木綿及ヒ水車紡績系調査」(抄) 一九二二年(明治四十五)	388
-----	---	-----

168	三河木綿(の動向) 一八八七年(明治二十)十一月二十七日	392
169	杉浦太市・福太郎(功勞調書) 一九一〇年(明治四十三)	392
170	二 織物同業組合の設立 〔愛知県六郡綿布織物同業〕組合設立認可申請 一九〇一年(明治三十四)十二月十八日	394
171	〔愛知県六郡綿布織物同業組合定款理由〕陳述書 一九〇二年(明治三十五)六月六日	395
172	愛三・愛知県幡豆郡・三河中央織物同業組合設置 一九〇五年(明治三十八)	397
173	〔愛三・愛知県幡豆郡・三河中央織物同業組合設置認 可指令〕 一九〇五年(明治三十八)十一月二十八日	400
174	三 出機の減少と力織機の導入 三河生白商況 一九〇六年(明治三十九)九月二十五日	401
175	〔愛三織物同業組合〕明治四十年(明治四十)度業務成績報告書(抄) 一九〇八年(明治四十)六月十五日	402
176	明治四拾四年度愛三織物同業組合事業成績報告(抄) 一九二二年(大正元)八月三十日	402
177	明治四十年(明治四十)度愛三織物同業組合業務成績報告 (抄) 一九〇八年(明治四十)五月二十八日	405
178	明治四十四年度愛知県幡豆郡織物同業組合業務成績報 告(抄) 一九二二年(明治四十五)五月	406

179	(三河中央織物同業組合) 明治四拾年度事業成績報告書(抄)	408
180	(三河中央織物同業組合) 明治四拾四年度事業成績報告書(抄)	409
181	四 大正・昭和初期の三河木綿 岡崎市役所『産業調査書』商工部第一部C綿布業(抄)	412
182	蒲郡地方ニ於ケル綿織物 一 三河織物同業組合の設立と展開	420
183	(三河織物同業組合設置発起人認可指令)	421
184	(三河織物同業組合設置認可指令)	421
185	(明治三十六年度)業務成績報告書	422
186	(明治四十二年度)業務成績報告書(抄)	424
187	二 戦間期の三河織物と不況への対応 (1) 三河織物同業組合の業務成績	426

188	昭和式年度三河織物同業組合業務成績報告(抄)	429
189	(2) 部会の設置 〔動力部会委員の選出通知〕	431
190	買継協同会員(名簿)	432
191	動力大巾織物部会録	432
192	(製造部会議事録)	433
193	(大巾織物製造業者名簿)	434
194	(3) 不況への対応 通知書	435
195	通知書	436
196	(染物同盟会決議)	436
197	織物生産調節規定	437
198	通知書	438
199	同盟休業ノ件	439
200	休灯及休業ノ件	440

201	(動力部会議事録)(抄)	一九二七年(昭和二)十月二十一日	440
202	(動力部会議事録)(抄)	一九二七年(昭和二)十一月二十六日	441
203	休業二関スル件	一九二九年(昭和四)六月二十八日	442
	三 昭和恐慌期の三河織物		
	(1) 三河綿布(織物)工業組合の設立		
204	工業組合設立趣意	一九三一年(昭和六)一月	442
205	工業組合創立委員会(議事録)	一九三一年(昭和六)二月五日	443
206	三河綿布工業組合設立同意書	一九三一年(昭和六)八月	445
207	(三河綿布工業組合設立認可指令)	一九三一年(昭和六)十一月二十四日	447
208	(昭和七年度三河綿布工業組合)事業報告(抄)	一九三三年(昭和八)七月五日	447
	(2) 昭和恐慌への対応		
209	休業二関スル件	一九三〇年(昭和五)五月二十九日	450
210	絶対休業期二関スル件	一九三〇年(昭和五)六月十七日	451
211	休業并ニ工賃引下二関スル件	一九三〇年(昭和五)十月十四日	451
212	休業並ニ工賃引下其ノ他二関スル件	一九三〇年(昭和五)十一月二十七日	452

#### 第四章 製糸業

213	工賃、職工手附、其ノ他二関スル件	一九三一年(昭和六)一月二十八日	452
214	不当乱売者二関スル件	一九三一年(昭和六)一月二十八日	453
215	査問会二関スル件	一九三一年(昭和六)五月八日	454
216	休業並ニ工賃引下二関スル件	一九三一年(昭和六)六月二十六日	454
217	生産手扣二関スル件	一九三一年(昭和六)十月三日	455
218	生産調節ノ為メ夜業休止等二関スル件	一九三一年(昭和六)十月三日	456
219	夜業休止撤廃ノ件	一九三一年(昭和六)十月十日	456
220	休業其他二関スル件	一九三二年(昭和七)三月三十一日	457
221	休業、工賃引下等二関スル件	一九三二年(昭和七)四月二十七日	457
222	休業二関スル件	一九三二年(昭和七)五月二十一日	458
223	男工給料引下ケノ件	一九三二年(昭和七)五月二十一日	458
224	工賃引下ケ及同盟休業二関スル件	一九三三年(昭和八)三月十八日	459
225	(製造部会大巾部会聯合部会議事録)	一九三三年(昭和八)四月三十日	459

第一節 明治前半期の製糸業

一 生糸改会社の設立

226	養蚕世話役申付 明治五年(一八七二)六月	461
227	養蚕世話役 一八七三年(明治六)	462
228	〔尾三生糸改会社〕社長副社長人員 一八七三年(明治六)四月	462
229	〔尾三生糸改会社〕定 一八七四年(明治七)六月五日	463
230	生糸改所増加願 一八七五年(明治八)六月	464
231	二 県製糸場設置と湯地恒雄 〔養蚕所を設け製糸之方法を講習せしむ〕 一八七七年(明治十)六月五日	466
232	勸業事務概況(抄) 一八七八年(明治十一)十月	466
233	本県製糸場 一八八二年(明治十五)	468
234	湯地恒雄事務調書(抄) 一九一〇年(明治四十三)	468
235	三 尾北と東三の製糸業 座操製糸設置二付仕法願 一八七九年(明治十二)三月	470
236	〔望月甲子松渥美郡繭糸共進会出品添書〕 一八八一年(明治十四)九月	472

各郡製糸景況

一八八二年(明治十五)

第二節 日清戦後の製糸業

一 県内製糸業の概況

237	各郡製糸景況 一八八二年(明治十五)	473
238	第四回勸業諮問会日誌(抄) 一八九六年(明治二十九)五月	475
239	愛知三重両県下製糸業管見録(抄) 一九〇一年(明治三十四)十一月	478
240	二 地元製糸の展開 細谷製糸株式会社(履歴書)(抄) 一九一〇年(明治四十三)	484
241	小淵志ち(履歴書)(抄) 一九一〇年(明治四十三)	487
242	三 県外製糸の進出 〔三井家〕製糸所新設之件 一八九五年(明治二十八)八月三十日	490
243	〔名古屋製糸場〕工女給料規則・工女等級調査法 年月日不明	490
244	勝野吉兵衛履歴書 一九〇四年(明治三十七)	495
245	〔三龍社〕工場心得・工女室取締規則・外出規則定 一八九七年(明治三十)	498
	第三節 日露戦後期から第一次大戦期の製糸業 一 県内製糸業の概況	

246 黄石丸及三竜又ヲ中心トスル蚕糸業ノ調査(抄)  
一九一八年(大正七)三月……………500

二 優良繭の購入と安楽育

247 (原名古屋製糸所)養蚕家養蚕共同組合及仲買人奨励法  
一九〇四年(明治三十七)五月……………510

248 東三製糸家の決議  
一九〇九年(明治四十二)五月十八日……………513

249 東三安楽団  
一九〇九年(明治四十二)五月十九日……………514

250 (三井組製糸)大正五年五月荷組帳  
一九一六年(大正五)五月……………515

三 三遠玉糸製造同業組合

251 他府県輸入職工奨励会規程  
一九一三年(大正二)一月……………518

252 三遠玉糸製造同業組合成績(大正元年)(抄)  
一九一三年(大正二)三月……………519

第四節 第一次大戦後の製糸業

一 蘭特約取引の展開

253 特約組合二開スル調  
一九二九年(昭和四)……………523

254 蘭特約取引方法二開スル調  
一九二九年(昭和四)……………524

255 製糸工場別特約取引状況調(昭和四年度春蚕繭)  
一九二九年(昭和四)……………528

二 地元製糸会社の再編

256 (中央製糸株式会社)第二回營業報告書  
一九二二年(大正十一)五月三日……………532

257 岡崎地方ニ於ケル製糸業ノ沿革(抄)  
一九四二年(昭和十七)……………534

258 生糸販売組合上奈良館沿革(抄)  
一九三五年(昭和十)四月十九日……………536

三 玉糸業の発達

259 本県玉糸業ノ現況(抄)  
一九二四年(大正十三)八月……………539

第五節 昭和恐慌後の製糸業

一 恐慌の打撃と組合製糸

260 蚕糸業の悲境と組合製糸(抄)  
一九三〇年(昭和五)八月一日……………548

261 (木曾川製糸株式会社)第一期營業報告  
一九三一年(昭和六)十二月三十一日……………550

二 片倉愛知製糸所の状況

262 昭和二年度重要事項記録(抄)  
一九二七年(昭和二)十二月三十一日……………552

263 昭和五年度重要事項記録(抄)  
一九三〇年(昭和五)十二月三十一日……………554

264 (昭和七年愛知製糸所事務主任意見書)  
一九三二年(昭和七)六月……………556

三 豊橋地方の製糸業

265	豊橋の製糸業(抄)	1933年(昭和8)十月	557
266	(三遠玉糸製造同業組合)沿革(抄)	1937年(昭和12)六月	560

## 第五章 繊維工業の女性労働者

### 第一節 募集取締規則と県下の概況

	一 明治期の状況		
267	製糸工女雇入ノ事	1886年(明治19)四月	561
268	(名古屋紡績会社工女募集に付石川県へ添書)	1887年(明治20)十月二十一日	562
269	職工募集取締規則	1900年(明治33)十月一日	563
	二 大正・昭和期の状況		
270	名古屋地方の女工生活(抄)	1919年(大正8)九月八日・十日	564
271	労働者募集取締規則	1921年(大正10)三月八日	567
272	労働者募集取締令施行細則	1925年(大正14)二月二十八日	568
273	愛知県を中心とする労働移動調査	1926年(大正15)十月十日	571
274	(滝田織布工場)労働者募集従事許可申請書	1925年(大正14)七月	580

275	(三井組豊橋製糸場)労働者募集届	1925年(大正14)十月二十日	582
276	(三井組豊橋製糸場)労働者募集許可申請書	1928年(昭和3)九月二十六日	585
277	愛知県労務需給状況(工業ノ部)(抄)	1936年(昭和11)十月	585

### 第二節 愛知県への出稼女性労働者

	一 岐阜県		
278	吉城郡工女組合聯合会、「大正十一年工女供給一覽表」(抄)(愛知県分)	1922年(大正11)二月十五日	588
279	大野郡工女組合聯合会、「大正十一年各工場別工女供給一覽表」(抄)(愛知県分)	1922年(大正11)三月一日	589
280	益田郡工女組合聯合会、「大正十二年工場別職工供給人員一覽表」(抄)(愛知県分)	1933年(大正12)二月十日	590
	二 静岡県		
281	講演「水窪町」本校児童生徒結核並びに本町女工結核について(抄)	1932年(昭和7)十一月二十二日	592
282	三 富山県		
	下新川郡女工保護組合、「下新川郡出稼女工勤統調」(抄)(愛知県分)	1928年(昭和3)五月二十三日	594



四 新潟県

283 中野財団「女工二関スル調査書」(抄)(愛知県分)

一九二八年(昭和三)三月

597

五 鹿児島県

284 福岡地方職業紹介事務局 出稼女工に関する調査(抄)

(愛知県分)

一九二八年(昭和三)三月

600

六 沖縄県

285 出稼労働者二関スル調査(抄)(愛知県分)

一九二九年(昭和四)九月

601

七 朝鮮

286 名古屋市を中心とする愛知県下在住朝鮮人労働者調査

(抄)

一九二五年(大正十四)十月

602

287 「中畑綿系組合朝鮮人」紡績工女年期契約証(抄)

一九二五年(大正十四).....

604

第六章 繊維機械工業

第一節 明治期の織機開発と企業化

一 織機開発と井桁商会・三井物産

(1) 豊田佐吉の織機開発

288 「豊田佐吉」事蹟取調書(抄)

一九二二年(明治四十五)五月十八日

607

289 「織機改良に対する豊田佐吉の石川藤八宛」感謝状

一九二七年(明治三十二)二月十一日

610

290 「合名会社井桁商会」豊田式織機説明書(抄)

一九〇一年(明治三十四)五月

611

291 岡部岩太郎ノ効績二付テ

一九一三年(大正二)一月

613

(2) 豊田佐吉と井桁商会・三井物産

292 豊田式織機一手製造販売二関スル願

一九二九年(明治三十二)九月十一日

614

293 豊田織布機二関スル件

一九二九年(明治三十二)十月六日

616

294 「豊田式織機製造販売に関する井桁商会・三井物産契約」

一九二九年(明治三十二)十一月十五日

617

二 豊田式織機株式会社の設立と愛知県織機業界

(1) 豊田式織機の設立と三井物産

295 織機製造会社設立

一九〇六年(明治三十九)十一月

619

296 特許権譲渡契約証書(草案)

一九〇六年(明治三十九)十二月一日

620

297 「豊田商会より豊田式織機への」引継証書

一九〇七年(明治四十)三月

622

298 「豊田式織機株式会社」第壹期營業報告(抄)

一九〇七年(明治四十)三月三十一日

623

299	(1) 〔豊田式織機株式会社〕第三期営業報告(抄) 一九〇七年明治四十(九)月三十日……………	627
	(2) 愛知県織機業界	
300	名古屋地方の織布界 一九〇六年明治三十九(五)月……………	629
301	愛知県の織機界 一九〇七年明治四十(四)月……………	630
302	動力織機の旺盛 一九〇七年明治四十(二)月……………	631
	第二節 第一次大戦期の新規参入と紡績機生産の始動	
	一 新規参入と新設企業の始動	
	(1) 大隈鉄工所の参入	
303	〔大隈鉄工所〕第四期営業報告書(抄) 一九二〇年大正九……………	632
304	〔大隈鉄工所〕第五期営業報告書(抄) 一九二〇年大正九(十)月……………	632
	(2) 野上機械工業株式会社の参入	
305	野上式経糸均張装置及野上式自動総繰線機 発明者 野上八重治 一九三〇年昭和五(七)月……………	633
306	〔野上機械工業株式会社〕第拾壹回営業報告書(抄) 一九三三年大正十二(二)月二十二日……………	634
307	〔野上機械工業株式会社〕第拾五回営業報告書(抄) 一九三五年大正十四(二)月二十二日……………	635

308	〔野上機械工業株式会社〕第十八回営業報告書(抄) 一九二七年昭和二(六)月二十五日……………	636
309	〔野上式自動織機株式会社〕第二十回営業報告書(抄) 一九二八年昭和三(六)月二十九日……………	637
	二 自動織機の製作と紡績機生産の始動	
	(1) 豊田式織機製作事業の拡大と下請	
310	〔豊田佐吉〕功績調書(抄) 一九三〇年昭和五(一)月一日……………	638
311	〔岡谷合資会社の動力織機下請受注〕 一九一六年大正五(四)月七日……………	643
	(2) 豊田式織機の紡績機生産	
312	第式拾七期定時株主總會議事録(抄) 一九二〇年大正九(四)月二十六日……………	644
313	新株募集二関スル報告書 一九二〇年大正九(一)月十二日……………	645
	第三節 戦間期における紡績機生産	
	一 紡績機生産・市場概況	
314	〔三井物産〕第九回(大正十五年)支店長會議議事録(第二日)(抄) 一九二六年大正十五(六)月二十二日……………	647
315	〔名古屋市〕力織機及紡機製造業(抄) 一九三六年昭和十一(五)月……………	648
	二 豊田式織機株式会社の発展	

330	第六拾期定時株主總會議事録(抄) 一九三六年(昭和十一年)十月二十九日	672
329	名古屋通信(豊田式織機) 一九三三年(昭和八年)三月	671
328	第五拾四期營業報告書(抄) 一九三三年(昭和八年)九月三十日	670
327	第五拾貳期定時株主總會議事録(抄) 一九三二年(昭和七年)十月二十七日	668
326	第五拾壹期營業報告書(抄) 一九三二年(昭和七年)三月三十一日	667
325	第五拾期定時株主總會議事録(抄) 一九三一年(昭和六年)十月二十八日	665
324	第五拾期(決算)(自一九三二年四月至同九月) 一九三一年(昭和六年)	663
323	第四十九期(決算)(自一九三〇年十月至三二年三月) 一九三一年(昭和六年)	662
322	第四拾七期定時株主總會議事録 一九三〇年(昭和五年)四月二十八日	660
321	豊田式織機株式会社 營業案内(抄) 一九三四年(昭和九年)	655
320	(豊田式織機の精紡機需用会社と鍾敷) 一九三〇年(昭和五年)一月	654
319	豊田式織機会社の精紡機ハイドラフト化 一九二九年(昭和四年)十一月	654
318	第四拾壹期定時株主總會議事録(抄) 一九二七年(昭和二年)四月二十六日	652
317	第參拾八期定時株主總會議事録(抄) 一九二五年(大正十四年)十月二十七日	651
316	第參拾六期定時株主總會議事録(抄) 一九二四年(大正十三年)十月二十五日	650

340	(豊田自動織機製作所と三井物産) 覚書 一九三三年(昭和八年)七月四日	692
339	(豊田自動織機製作所と三井物産) 販売契約書 一九三三年(昭和八年)七月四日	691
338	豊田式織機株式会社と代理契約調印ノ件 一九三三年(昭和八年)七月六日	689
337	事 (三井物産) 豊田自動織機ノ事・豊田自動織機販売ノ事 一九二七年(昭和二年)三月一日・十二日	687
336	(三井物産) 第五回(大正六年)支店長會議事録(其十)(抄) 一九二七年(大正六年)六月二十二日	683
335	(豊田式織機株式会社) 販売契約覚書 一九二七年(大正六年)二月二十六日	682
334	(豊田自動織機製作所) 第拾貳回報告(抄) 一九三二年(昭和七年)十月二十日	680
333	(豊田自動織機製作所) 第拾回報告(抄) 一九三一年(昭和六年)十月二十一日	679
332	(豊田自動織機製作所) 第二回報告(抄) 一九二七年(昭和二年)十月二十一日	677
331	(豊田自動織機製作所) 第一回報告(抄) 一九二七年(昭和二年)四月二十五日	674

第四節 内外紡織機メーカーと三井物産  
協調と競合

三 豊田自動織機製作所の設立と進展

341	(豊田自動織機製作所と紡織機械用品会社) 織機部分 品上海地方一手販売契約書 一九三三年(昭和八)十月十七日……………	693
	二 豊田のプラット社への特許権譲渡	
342	(豊田のプラット社への特許権譲渡) 証明書 一九三二年(昭和七)十月……………	694
	三 両豊田・三井物産の紡織機販売協議会	
343	豊田自動織機販売方法打合せ 一九二六年(大正十五)十二月七日……………	698
344	両豊田協定会議 一九三一年(昭和六)四月七日……………	700
345	第一回両豊田社協議会 一九三二年(昭和六)五月二十七日……………	701
346	第十一回次水会・第十七回一火会聯合会々々議録(抄) 一九三三年(昭和八)十二月七日……………	704
347	第拾参回次水会々々議録(抄) 一九三四年(昭和九)十月二十日……………	709
348	第拾五回次水会々々議録(抄) 一九三五年(昭和十)十二月十四日……………	711
349	第廿七回一火会々々議録(抄) 一九三六年(昭和十一)十月十四日……………	715
350	第卅一回一火会々々議録(抄) 一九三七年(昭和十二)四月十九日……………	718
351	第卅二回一火会々々議録(抄) 一九三七年(昭和十二)五月四日……………	722
352	第十八回次水会々々議録(抄) 一九三七年(昭和十二)五月十七日……………	724

## 第七章 窯業

### 第一節 名古屋・瀬戸

	一 明治前期・中期の概要	
353	愛知県陶磁器景況 一八八五年(明治十八)……………	731
354	瀬戸町陶磁器ノ産出 一八九四年(明治二十)五月……………	736
355	名古屋陶器貿易商組合ト外国商館トノ紛議ニ就テ 一八九四年(明治二十)九月……………	737
	二 名古屋と瀬戸の分業体制の確立	
356	名古屋画焼附業ニ付テ 一八九四年(明治二十)八月……………	740
357	(名古屋と瀬戸の聯合交渉)(抄) 一八九四年(明治二十)十二月……………	741
	三 中小商工業者の集積と輸出	
358	瀬戸の陶磁器 一九〇五年(明治三十八)七月……………	744
359	(名古屋) 生産輪移出調査 一九三三年(大正十二)五月十五日……………	746
360	(瀬戸) 生産品輪移出調査 一九三三年(大正十二)五月二十八日……………	748
361	(瀬戸地方の工場数・職工数・機械数・窯数)(抄) 一九三一年(昭和六)八月……………	751
362	(都市計画に対する)陳情書(抄) 一九三四年(昭和九)七月十九日……………	754

四 労働者の状態

363 松村磁器製造所職工調査表  
一八九四年(明治二十七年)四月三十日……………759

364 川本柘吉磁器製造所職工調査表  
一八九四年(明治二十七年)四月三十日……………761

365 (瀬戸町所在磁器製造所)職工調査表別紙  
一八九四年(明治二十七年)四月三十日……………762

366 愛知県社会課『陶磁器製造業者の労働と生活』(抄)  
一九二六年(大正十五年)十一月……………763

五 同業者組織と試験所

367 (瀬戸陶磁工商同業組合設置認可申請書)  
一八九九年(明治三十二年)十一月……………765

368 (瀬戸陶磁工商同業組合明治四十三年度)業務成績報告(抄)  
一九一一年(明治四十四年)七月三十日……………767

369 愛知県工業試験場報告 第二回(抄)  
一九二五年(大正十四年)十一月……………770

370 (瀬戸陶磁器工業組合)第一年度事業成績報告書(抄)  
一九二七年(昭和二年)四月十六日……………772

371 低利資金借入(による共同事業)  
一九二九年(昭和四年)三月……………774

六 近代的企業の設立と発展

(1) 日本陶器

日本陶器合名会社定款  
一九〇四年(明治三十七年)二月一日……………777

373 (日陶幹部宛大倉和親書簡(1))(抄)  
一九二二年(明治四十五年)五月……………780

374 (日陶幹部宛大倉和親書簡(2))(抄)  
一九二二年(明治四十五年)六月五日……………782

375 合理化ニヨル機械及労働能率増進(抄)  
一九三二年(昭和七年)十二月……………784

376 ボンチャイナ試験製造ノ経過報告(抄)  
一九三五年(昭和十年)二月十七日……………786

(2) 日本碍子

377 日本碍子株式会社定款  
一九一八年(大正七年)十二月五日……………789

378 重役会決議録  
一九一九年(大正八年)五月十五日……………792

379 (大倉和親宛江副孫右衛門書簡)  
一九二二年(大正十一年)五月十三日……………793

380 土曜会(記録)  
一九二五年(大正十四年)二月十日……………795

381 碍子工報(号外)(抄)  
一九二七年(昭和二年)八月二十五日……………797

第二節 常滑

一 明治前期の概況

382 陶磁器漆器銅器之四種製造高取調査(抄)  
一八八一年(明治十四年)五月……………799

383 常滑村陶工業組合規約  
一八八六年(明治十九年)三月二十九日……………807

二 生産と流通

384	〔鉄道局より土樋注文の件〕 一八八五年明治十八)十一月二日……………	812
385	〔土樋売込に付〕約定証 一八九二年明治二十五)十月二十日……………	812
386	九商店約定為取換証 一八九四年明治二十七)……………	814
387	〔製造請負に付〕約定証 一八九四年明治二十七)八月二十五日……………	816
388	常滑の陶磁器 一九〇五年明治三十八)十一月……………	816
389	生産品輪移出調査 一九三三年大正十二)三月二十八日……………	818
390	常滑地方に於ける陶業関係動力需給の現況(抄) 一九三一年昭和六)四月……………	821
391	三 労働者の状態 伊奈長三郎陶器製造所職工調査表 一八九四年明治二十七)四月三十日……………	823
392	〔①伊奈初之丞工場〕各種工場調 一九一九年大正八)十二月……………	824
四 同業者組織の事業		
393	常滑陶器同業組合事業二属スル石炭焼試験窯成蹟報告 一九〇一年明治三十四)十月二十二日……………	826
394	経済的見地よりせざる常滑土管業観(下)(抄) 一九一四年大正三)五月……………	829
395	〔常滑陶器工業組合〕県費補助申請書(抄) 一九三〇年昭和五)十二月……………	833
396	第六年度常滑陶器工業組合事業報告書(抄) 一九三二年昭和七)四月二十一日……………	835

## 五 近代的企業の設立

397	伊奈製陶株式会社創立二関スル事項報告書 一九二四年大正十三)二月一日……………	838
398	〔伊奈製陶株式会社〕起業目論見書・起業予算書 一九二四年大正十三)二月一日……………	839

## 第三節 高浜

### 一 生産と流通

399	〔三河国碧海郡高浜村〕陶器製造調(抄) 一八七四年明治七)九月……………	843
400	愛知県碧海郡に於る窯業 一九〇二年明治三十五)十二月……………	849

### 二 販路の拡大と同業組合

401	〔三河陶器工商同業組合〕視察報告書(抄) 一九一一年明治四十四)四月十四日……………	852
402	愛三土管煉瓦同業組合明治四十三年度事業成績報告書 一九二二年明治四十五)三月七日……………	854

## 第八章 食品工業

### 第一節 酒造業

#### 一 酒造業統制の再編

403	〔清酒等醸造税則改正に付心得〕 明治四年(一八七二)八月二十四日……………	857
-----	--	-----

416	415	414	413	412	411	410	409	408	407	406	405	404
定	(加茂郡清酒等醸造業者取調に付達)	辛未年売出シ直段定	(酒造鑑札上納・新規鑑札下渡のこと)	清酒造石税増徴二対スル請願	酒税増徴二反対ノ決議	(酒造税増徴に対する請願)	酒家会議決議の要領	(酒造営業業人中造石税連脱を嚴重取締せしむ)	酒造営業業人心得書	(酒造検査概則改正)	酒造検査概則	(清酒等醸造稼人心得)
明治五年(一八七二)四月	明治五年(一八七二)二月二十五日	明治四年(一八七二)十一月十九日	明治四年(一八七二)十月	一九〇一年明治三十四(一)月	一八九八年明治三十一(一)十一月	一八九一年明治二十四(三)月	一八九一年明治二十四(三)月	一八八四年明治十七(二)月二十八日	一八八〇年明治十三(二)月二十八日	一八八〇年明治十三(二)月二十四日	一八七八年明治十一(一)月十九日	明治五年(一八七二)八月
883	882	881	881	876	874	872	867	866	861	861	860	858

429	428	427	426	425	424	423	422	421	420	419	418	417
愛知県知多郡の酒造	専売特許新醸法	尾州知多郡酒造景況(抄)	尾州知多郡釀酒沿革(続)(抄)	尾州知多郡釀酒沿革	(年行司を廃止し取締役と改称)	癸酉清酒直段書	酒相場書上	(酒造株上納金に付四郡歎願の件)	(鑑札受取届)	酒造年行司申付	申年新酒売出シ	加茂郡酒造取締(の取極め)
一九一二年明治四十五(二)月	一八九二年明治二十五(五)月	一八八九年明治二十二(二)月	一八八九年明治二十二(二)月	一八八八年明治二十一(二)月	一八七四年明治七(一)月二十五日	一八七四年明治七(一)月十二日	一八七三年明治六(九)月	一八七三年明治六(八)月	一八七三年明治六(三)月	一八七三年明治六(三)月	明治五年(一八七二)十一月二十四日	明治五年(一八七二)五月十一日
896	893	892	891	889	887	887	886	886	885	885	884	884

四 知多郡酒造業の展開

(1) 沿革と動向

	430	尾州半田の酒造業 一九一九年(大正八)七月……………	899
		(2) 豊醸組の設立と活動	
	431	知多郡酒類営業組合規約 一八八六年(明治十九)五月……………	901
	432	(酒類製造業者同盟) 約束証 一八九一年(明治二十四)五月二日……………	904
	433	第四回内国勸業博覧会授賞ノ報告 一八九五年(明治二十八)七月十二日……………	906
	434	明治廿八年自一月至十二月事業報告 一八九六年(明治二十九)二月四日……………	907
	435	(豊醸組第二部取締) 告示 一八九七年(明治三十)十二月十五日……………	910
	436	豊醸組決議録要領書 一九〇四年(明治三十七)八月……………	910
	437	(豊醸組解散説への第二支部反対意見) 一九〇五年(明治三十八)三月三日……………	911
	438	(明治三十七年度豊醸組) 事業成績報告 一九〇五年(明治三十八)十一月一日……………	912
	439	豊醸組醸造試験所設置と試験 一九一〇年(明治四十三)十一月二十五日……………	914
	440	東海四県聯合酒類品評会(県下受賞者一覽) 一九二二年(大正元)十一月三日……………	915
	441	大正拾五年度豊醸組含業務成績(抄) 一九二七年(昭和二)十二月二十日……………	916
	442	昭和六年度豊醸組業務成績(抄) 一九三二年(昭和七)十月八日……………	918
(3)		生産状況	

	443	(明治二十六年度) 酒類製造純益調 一八九四年(明治二十)四月十日……………	919
	444	(新美万五七家明治二十七年) 酒類醸造(等)所得 明細書 一八九五年(明治二十八)四月……………	921
	445	明治廿六 廿七年度酒類造石確定高・廿七 廿八年 輸出高調 一八九五年(明治二十八)……………	923
	446	清酒醸造場調 一九〇三年(明治三十六)三月十五日……………	924
	447	五 碧南の味淋醸造業 稲垣健太郎『衣ヶ浦東岸の醸造業』(抄) 一九三五年(昭和十)六月……………	928
	448	石川三碧(功勞調書) 一九一〇年(明治四十三)三月……………	930
	449	輸移出品調査 一九二四年(大正十三)三月十五日……………	931
	450	昭和九年自一月至十二月味淋、味淋粕販売高調 一九三四年(昭和九)十二月二十三日……………	932
	451	第二節 その他の食品工業 一 酢 (笹田伝左衛門へ商標登録証下附に付通知) 一八八五年(明治十八)九月十五日……………	935
	452	商標登録願 一八八七年(明治二十)三月二十六日……………	935
	453	清酒醸造所職工調査表 一八九四年(明治二十)六月五日……………	936



467	理学士御出張願 一八八六年明治十九(六月五日)	963
466	(葡萄樹害虫撲滅方に付諭達) 一八八五年明治十八(六月八日)	962
465	葡萄園景況書 一八八二年明治十五(三月)	959
464	愛知県伺官林拝借之儀(二付再上申) 一八八二年明治十五(二月八日)	958
463	官林拝借之儀(二付請願書) 一八八一年明治十四(九月)	955
462	葡萄酒醸造免許御鑑札願 一八八〇年明治十三(十一月二十六日)	955
461	官林御払下之義(二付再願) 一八八〇年明治十三(十月)	954
460	(葡萄酒醸造伝習入場之儀に付回答通知) 一八八〇年明治十三(九月二十四日)	953
459	(山梨県葡萄酒醸造所入塾添書) 一八八〇年明治十三(八月二十八日)	953
458	官林御払下願 一八八〇年明治十三(八月)	951
457	中禁酢店調書 一九三二年昭和七(五月)	946
456	第壹期營業報告書(抄) 一九二四年大正十三(七月二十五日)	944
455	輸移出品調査 一九二四年大正十三(三月二十八日)	943
454	(東京大正博覧会用)解説書 一九一四年大正三(五月七日)	940

474	役員会決議録(抄) 一九二九年昭和四(十月四日)	975
473	第壹回營業報告書(抄) 一九三三年大正十二(十二月)	974
472	(愛知トマト製造株式会社)定款(抄) 一九三三年大正十二(二月二十二日)	973
471	愛知トマト製造株式会社設立趣意書 一九三三年大正十二( )	970
470	(愛知トマトソース製造合資会社社案内)(抄) 一九二〇年大正九( )	968
469	トマトソースニ關スル方法及成蹟 一九一〇年明治四十二( )	964
468	(害虫フエロキセラ飛見届)(抄) 一八八六年明治十九(六月三十日)	963